

おでかけだより

新春号 NO. 60

2019年1月1日



発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』 発行責任者：樋口 蓉子
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>



新年おめでとうございます

理事長 樋口 蓉子

皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。



おでかけサービス杉並も2005年2月の事業開始以来13年が経過し、皆様のご支援をいただきながら、“誰もが暮らしやすい杉並のまちをみんなで力を出し合っつけていけます”をコンセプトに、当初の移動サービスから始まり、ゆうゆう桃井館・善福寺館、外出支援相談センターもび〜る、NEKOの手サポート、けやきの見える家、と活動の幅を拡げてきました。

実はもう一つ、11年間続けてきた活動があります。杉並区からの受託事業で、認知症予防教室「仲間とつくろう おとこの台所&ウォーキング」(通称「おとこの台所」)があります。料理とウォーキングを仲間と一緒にしながら認知症を予防しようという、65歳以上の男性限定の教室です。教室終了後は自主グループになって(今年度は参加人数が少なく残念ながらグループにはなりませんでしたが)、既に10団体が月1回ゆうゆう桃井館の料理室で活動が続けており、昨年6月には10団体の合同交流会が盛大に行われ、このブログにも紹介されています。

グループの皆さんには交替で、桃井館の高齢者対象の「おたのしみ昼食会」の食事をつくっていただいております、大変好評です。桃井館では昨年9月より、多世代交流型のコミュニティ食堂「桃井みんなde食堂」(みんしょく)を始めましたが、この調理を各期のグループの有志の方々をお願いして、これまた大変喜ばれています。その様子が杉並区的生活支援体制整備通信「杉並ぐるる」10号に紹介されました。ご自分たちの活動が地域に活かされていくことの充実感、達成感を感じられていることと思います。

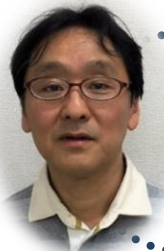
自分たちのまちは自分たちでつくる! 地域の主人公はその地域に暮らす住民自身。自分たちが持っているそれぞれの力や想いを寄せ合っつけて、誰もが安心して暮らせる杉並のまちをつくっていきましょう!!

本年もメンバー一同、これまで以上に一層の努力をしてみたいと思いますので、どうぞ皆様の変らぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この一年が皆様にとりまして佳き年となりますよう、心より祈念申し上げます。



新規運転協力員 紹介 岩村 通和(みちかず)さん



12月に新たな運転協力員の登録がありました。岩村さんは、障がいの方の重度訪問介護事業所を開設されており、空いた時間でご自身の福祉車両を使い、主に車いすの方の送迎を担当していただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



2019年の抱負

移動サービス

理事 島津 俊男

移動サービスは、利用者の方々に安全、安心、快適な運行を提供することを目標に日々努力しています。おかげさまで、大きな事故やクレームもなく2018年を終え、新年を迎えることができました。運行回数はこのままいけば3月末には年度目標の5300回をクリアできると推測され、このサービスの良さが少しずつ世の中に知られてきたことはうれしい限りです。今年は、当NPO所有のバネットを新車に更新する予定ですので、利用者の方々には従来にも増して快適に乗車していただけるものと思います。新年を迎えるにあたり、安心、快適な運行はもちろん、運転協力員・コーディネーター一同「安全はすべてに優先する」ことを肝に銘じて取り組んでいきますので、よろしく願いいたします。

ゆうゆう桃井館



理事 竹永 信子

ゆうゆう桃井館では1月29日に「健康セミナー・認知症ポジティブ」を開催します。認知症をポジティブ＝前向き・肯定的にとらえ、明るい気持ちで暮らすための方法についての講座で、私たちスタッフにとっても、役に立つ内容になるはず。認知症に限らず、誰でも年をとればいろいろな障がいや病気に向き合うこととなりますが、そのような時でもポジティブに暮らしていくためには、どのような支援が必要となるのか、桃井館として何ができるか考えて、受付対応やサロンなどに生かしていきたいと思えます。周りを見回せば、桃井館に来られる方は皆さんポジティブ、明るく活動的です。「桃井館があるから楽しく過ごせて、おかげで寿命が延びる～」なんて嬉しいお言葉もいただきます。今年もスタッフ一同これまで以上に「ポジティブ」に、皆様をお迎えしたいと思います。

ゆうゆう善福寺館



理事 高橋 千佳子

昨年度は新しい試みとして「気軽に！みんなで歌いましょう♪」をスタートさせ懐かしい歌や季節の歌を中心に皆様に楽しんでいただきました。健康3事業「セルフケア講座・美姿勢バレエ音楽ストレッチ・ストレッチ」では健康と美を求めて定着しています。加えて「善福寺はつらつ道場」も発足しました。食の面では、お弁当や出前を取り、調理方法を見て学ぶといった機会を積極的に取り入れました。芸術面では、創作木版画が善福寺公園ギャラリー展示会に挑戦。館内では壁面ギャラリーを新設し書道などの発表の場として輝きました。これらに共通することは“集う”楽しさです。今年も魅力ある集いの場を企画します。2019年もお待ちしております！

NEKO (ネコ) の手サポート



理事 野口 恭子

ネコの手サポートは利用者とサポーターの1対1での活動なので、それぞれのサポートの工夫や悩みなどを共有することが難しく孤独な活動になりがち。サポーターの気持ちのケアも大切と考え昨年は初めてサポーター同士の交流会を催しました。16名の参加で初めて顔を合わせる方も多かったのですが、同じ活動をする仲間として認識しあえる有意義な会になりました。現在、実際に活動しているサポーターは10数人ですが、この活動の楽しさや支えあう事の大切さをもっと発信し、担い手を増やしていきたいと思えます。

外出支援相談センターもび〜る



理事 秋山 糸織

もび〜るは、外出がむずかしい方のための相談窓口です。おひとりおひとりの困り事に応じてご提案するのは、おでかけサービスのような市民活動の移動サービス、介護タクシーや福祉ハイヤー、予約可能な一般タクシーなどいろいろです。2018年、杉並の福祉交通の現場ではこの10年ない変化として、ユニバーサルデザインタクシーの増加、タクシー配車アプリの開発・普及がありました。新しいものをどのように使いこなしていくのか、またアクセスできない方への対応など、試行錯誤が続いています。さまざまな変化を受け止めてより良く活かせるよう、アンテナを高くあげて、利用する皆さんの声を聞き、協力して下さる事業者の方たちと一緒に智恵を絞りたいです。新しい年もどうぞよろしくお願い申し上げます。